

JSAF

2015年ユース国体新艇種採用
に関するアンケート調査結果
No.1

2012年7月7日

①各都道府県内ユース世代活動状況調査

1. ユース世代活動団体状況

高校ヨット部数	113
実動高校ヨット部数	105
部員人数	1179

※高体連加盟校は国内全体で123校になります。

ユースクラブ等	88
人数	723

①各都道府県内ユース世代活動状況調査

2. 420級 艇保有状況

全体艇数	111艇
連盟保有艇数	13艇

保有艇有り都道府県連	
団体数	保有率
3団体	6.4%

3. レーザー級艇体保有状況

全体艇体数	741艇
連盟保有艇体数	32艇

保有艇有り都道府県連	
団体数	保有率
13	27.7%

4. レーザー級リグ保有状況

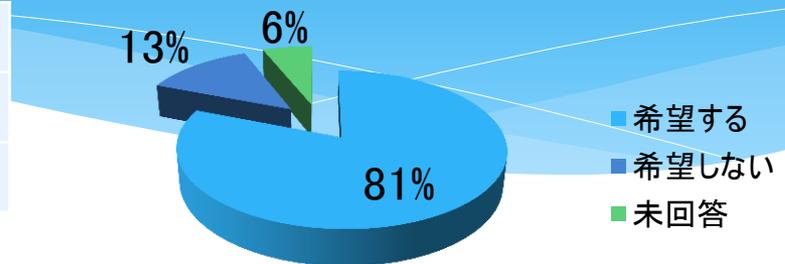
4.7・リグ	104本
ラジアル・リグ	453本
スタンダード・リグ	483本

都道府県連保有艇は少ないものの、多くの艇が国内にある事が改めて分かりました。また、レーザーラジアルについても相当数のリグが国内にある事が分かりました。

②420級 艇購入に関する調査

1. JSAF幹旋艇の購入の有無

希望する	希望しない	未回答または未定
38団体	6団体	3団体
81%	13%	6%

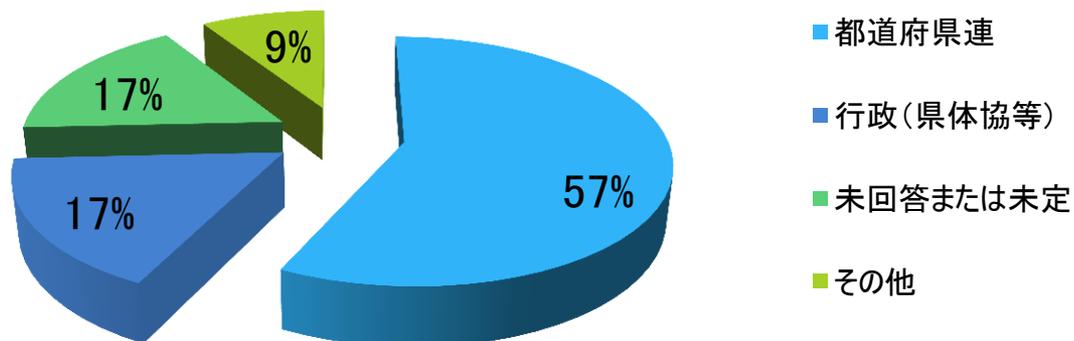


希望しない理由

- 県や学校からの備品購入は、新品に限られる。なお学校OB会等からの支援についても、インターハイに採用が決定してからじゃないと動けない。以上の理由から幹旋希望艇数は現時点ではゼロである。
- 現段階の高校ヨット部では、財源がないので購入ができない。また、県連としても購入する財源がないので、購入できない。なお、高校ヨット部存続が危うい状況であるため。
- ユース 0 名の現状では艇の購入を考える余地はない
- 現段階では、幹旋艇の年式、仕様が不明の為に何とも言えない。

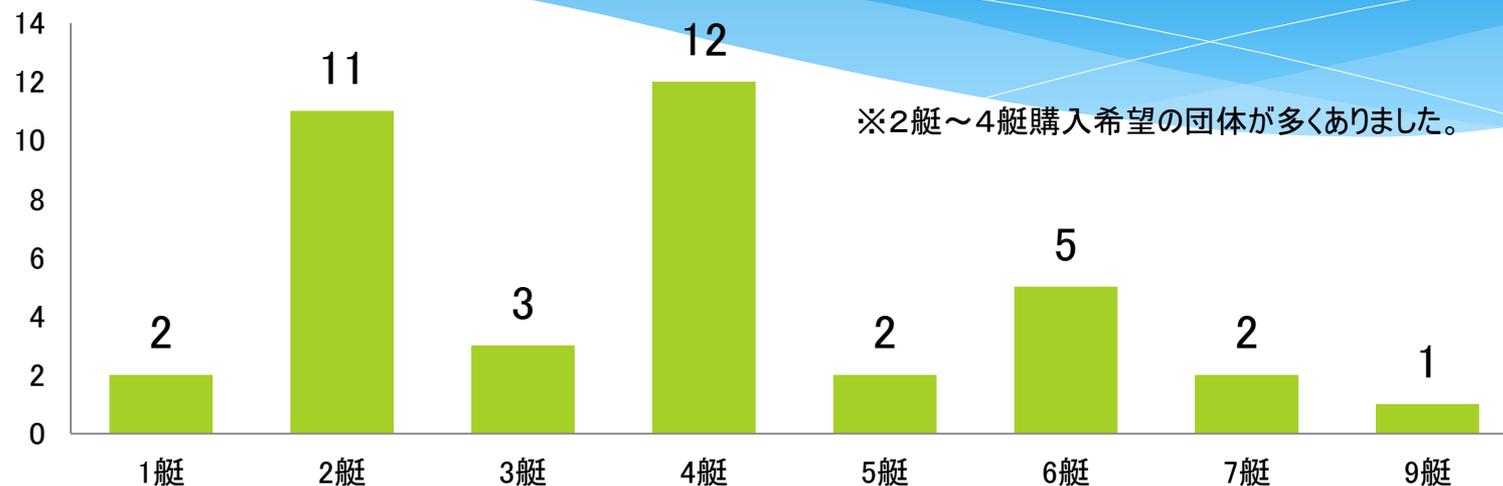
2. 購入予定団体

都道府県連	行政(県体協等)	未回答または未定	その他
27	8	8	4
57%	17%	17%	9%



インターハイにも採用になるかどうかや、幹旋艇の価格等の詳細情報不足の状態では回答できないとの事で、未定と回答される団体が15%になっている。その他は高校OB会等の回答もあった。

3. 購入予定艇数



4. 購入予定時期

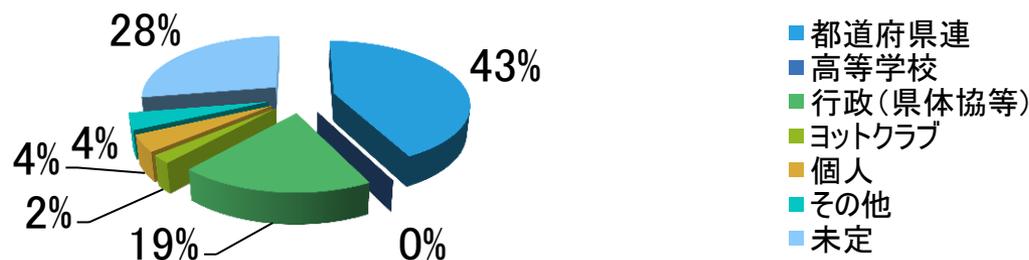
	合計艇数	都道府県連数	1艇	2艇	3艇	4艇	9艇
2012年度	24	15	9	3	3		
2013年度	27	20	13	7			
2014年度	36	19	9	8			1
2015年度	16	9	4	4		1	
時期未定	41	9					

※上記は団体数になります。

③少年男女種目のレーザーラジアル級艇購入に関する調査

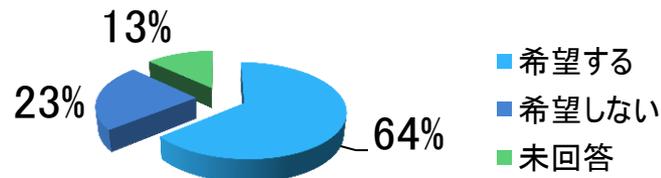
1. 購入予定する団体、他

都道府県連	高等学校	行政(県体協等)	ヨットクラブ	個人	その他	未定
20	0	9	1	2	2	13
43%	0%	19%	2%	4%	4%	28%



2. JSAFの購入斡旋希望の有無

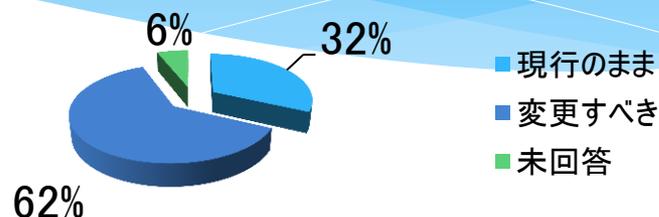
希望する	希望しない	未回答
30	11	6
64%	23%	13%



④ 成年男子、成年女子シングルハンドに関する調査

1. 成年男子シングルハンドをレーザー級に変更する事について

現行のまま	変更すべき	未回答
15	29	3
32%	62%	6%



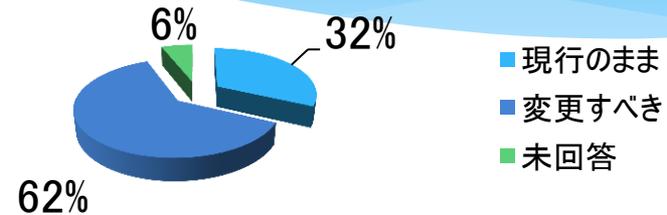
変更すべきとお答えの方にお伺いします。具体的な時期は？

2015年和歌山	2016年岩手	2017年愛媛	2018年福井	2019年茨城	2020年以降	未回答
23	1	1	1	0	1	2
79%	3%	3%	3%	0%	3%	7%



2. 成年女子シングルハンドをレーザーラジアル級に変更する事について

現行のまま	変更すべき	未回答
15	29	3
32%	62%	6%



変更すべきとお答えの方にお伺いします。具体的な時期は？

2015年和歌山	2016年岩手	2017年愛媛	2018年福井	2019年茨城	2020年以降	未回答
23	1	1	1	0	1	2
79%	3%	3%	3%	0%	3%	7%



成年男子、成年女子シングルハンドに関する調査では、両クラスとも全く同じ結果となりました。